

連日の猛暑で、外に出るだけでも汗ばむ日が続いています。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。今回も研修医2年目が担当させていただきます。

今回は、私が研修医1年目の夏に経験した救急科ローテーションについてお話しします。当院では3ヶ月救急科をローテーションします。あの頃はとにかく必死で正直あまり記憶がなく気がつけば、秋の虫が鳴いていました。

基本業務は午前中にカンファレンス、午後は救急外来や病棟管理にあたります。ローテーションの初期は仕事を覚えるので精一杯で、昼食をとる間もなく夕方のカンファレンスを迎える日が続いていました。

ある日、救急科の上級医の先生が食堂に連れて行ってくださいました。先生は目の前で驚くほどのスピードで定食を完食。「これが救急科のスピードか…」と妙に感心したのを覚えています。私は緊張しすぎて食べた定食の味をまったく覚えていません。今では、どんなに忙しくても、合間を見てしっかり食べる力がつきました。

医師の仕事は体力勝負。まずは自分の体調を整えることが、患者さんに向き合う第一歩だと、救急科で学んだ大切な教訓です



許可を得て掲載しています

思い出の生姜焼き定食を休み時間が被った2年目の同期と。食堂のご飯は美味しいと評判です！
救急科ローテ中の同期が朝早くから医局で頑張っていたので1枚。